

宇都宮の高校生のための読書情報誌

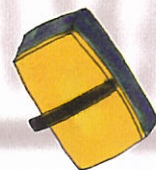
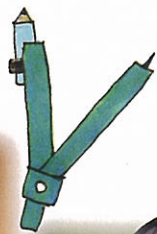
MIYATEENIX

ミヤティーンスクール

～青春は活字と共にあり!～



宇都宮市立MIYATEEN学園



「マツリカ・マジョルカ」



相沢沙呼 / 著
角川書店

「日常の謎」を主軸とする青春ミステリ!

感想 謎の美少女マツリカとヘタレ男子柴山祐希の凸凹コンビの会話がとても面白いです。個人的ですが、マツリカさんの性格が好きです。



青春の1ページ

「少年少女飛行倶楽部」



加納朋子 / 著
文藝春秋

少年少女は夢を見る。空を飛ぶという大きな夢を。

感想 「飛行クラブ」という、空を飛ぶために活動するというアイデアが斬新で面白い。舞台は中学校だが、こんな中学校生活を送ってみたいと思ったと思うに違いない。



「少女」



湊かなえ / 著
早川書房

二人の女子高生は夏休みに様々なものを見て、様々なことを経験する。衝撃のラストは必見。

感想 「告白」を描いた湊かなえが送る人間物語。その人間模様はリアルかつ残酷に描かれている。この読後感、クセになること間違いなし!

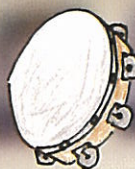


「自分を信じる勇氣」

天乃聖樹 / 著
泰文堂

愛に生きた天才音楽家モーツァルトに学ぶ61の言葉。

感想 「夢を見るから、人生は輝く」モーツァルトにとって夢はかけがえのないものであり、私も夢に向かって頑張ろうと思いました。



「二本指のピアニスト」

ウ・カプスン / 著
新潮社

先天性の障害をもったピアニストの感動の実話。

感想 両手の指は2本ずつ、足は膝までしかなく、楽譜を読む知能もない彼女が、試練と向き合いながらも明るく前向きに生きている姿に感動しました。



文学で奏でる物語

「南極点のピアピア動画」

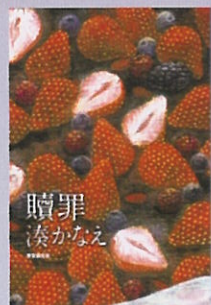
野尻抱介 / 著
早川書房

SFとボカロのコラボ!

感想 ボカロという身近なものがSFになっていて、とても楽しく読めました。本当にこんな未来が訪れたら良いと思います。



夜の保健室に潜む謎



「贖罪」

湊かなえ／著
東京創元社

15年前に田舎で起きた殺人事件が今、更なる悲劇を巻き起こす。

感想

章ごとに主人公が変わる独白形式は、物語を様々な視点から語ります。



「そして誰もいなくなった」

アガサ・クリスティー／著
青木久恵／訳
早川書房

孤島でおこる事件。1人ずつ消えていく。

感想

最後まで真相が分らないです。ラストに明かされる犯人・犯行方法には驚かされます。



「葬偽屋は吊わない」

森晶麿／著
河出書房新社

「またのご臨終をお待ちしております。」
貴方の素敵な「葬偽」をお手伝いします。

感想

自分が死んだら周りの人はどう思うだろう。一度は考えたことありませんか？これはそんな思いをもとに物語が加速します。



「三毛猫ホームズの推理」

赤川次郎／著
角川書店

片山とホームズの活躍を描く、三毛猫ホームズシリーズの第一弾。

感想

ミステリーですが、クスリと笑える場面が多いです。

走り出す僕らの想い

「心を整える」

長谷部誠／著 幻冬舎



勝利をつかむための誰もが実践できるメンタル術。

感想

「いかなる時も安定した心を備えることが、常に力と結果を出せる秘訣」という言葉は、今の私に響き、今すぐ実行したくなりました。



「走った！撮った！世界のマラソン」

辰巳郁雄／著 東方出版

世界のマラソンの様子が写真と文字によって紹介されています。

感想

着ぐるみを着て走る人や妖精の仮装で走る人などいろいろな格好で走っている人がいて面白かったです。また、応援する側の人の服装等にも注目して読んでみてください。



「きみが見つける物語 十代のための新名作 放課後編」

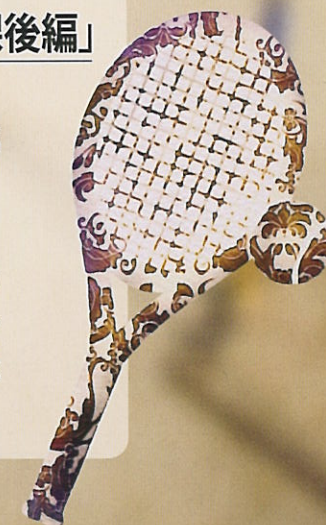
浅田次郎・他／著 角川書店



1冊の本の中に数人の作家さんが書いた短編が入っています。

感想

それぞれの作家が書く、「放課後」のカタチが違って読んでいて楽しかったです。他にも「友情編」や「こわ〜い話編」などがあるので、ぜひ読んでみてください。



START

Q 映画化好き?

Q アニメ好き?

Q フィクション好き?

Q 有名な作品を元にした本は?

Q 忍耐力はあるほうだ。

Q 「山月記」知ってる?

「ジョーカー・ゲーム」

柳広司／著 角川書店

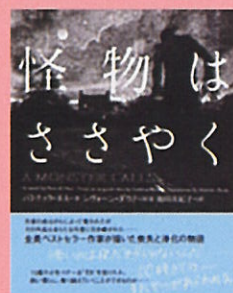


昭和初期の日本で、極秘裏に設立された陸軍のスパイ養成学校「D機関」。そこで訓練を受けたスパイたちが緊迫の謀報戦を繰り広げるスパイ・ミステリー。

感想 次の展開がとても気になり、ページをめくるたびにワクワクします。アニメ・漫画・映画・舞台にもなっているのでぜひ、読んでほしいです。

「怪物はささやく」

パトリック・ネス／著 あすなろ書房



13歳の少年コナーのもとに、ある夜、怪物が現れた。イチイの姿をした怪物。怪物は「私が三つの物語を語り終えたら、今度はおまえが四つ目の物語を話すのだ。」嘘と真実を同時に信じた少年は、なぜ怪物に物語を話さなければならなかったのか…。

感想 人間の感情について新たに気付くことができます。挿絵が素晴らしい1冊です。

「25年目の「ただいま」」

サルー・ブライアリー／著 静山社



5歳の時、インドで迷子になったサルー。彼は運よくオーストラリア人夫妻の元へ養子に行き、幸せな暮らしを送ったが、インドの家族を忘れてはいなかった。わずかな記憶を頼りに、自分の故郷を探すため、グーグル・アースの旅に出発。25年の歳月と1万キロの距離を越えて、彼は家族と再会を果たすことができるのか。

感想 こんな話が本当にあるのかと驚きました。自分も途上国の人々のためにできることはないのか考えさせられました。また、副題の「ライオン」の意味が最後にわかり、納得しました。

「虎と月」

柳広司／著 理論社



父は虎になった。そんなこと簡単に信じられるものか。父を探しに旅に出たぼくは、父に会ったという人から手紙を受け取る。そこには父がその場で詠んだという一篇の漢詩が書かれていた。

感想 高校生のみなさんの中には現代文で「山月記」を習った人も多いと思います。この本はそんな人にぜひ読んでほしい一冊です。読後に感嘆の声が出ること間違いなし!

「アリス殺し」

小林泰三／著 東京創元社



大学院生栗栖川亜理は、最近、不思議の国にまよいこんだアリスの夢ばかり見ている。その世界でハンブレイ・ダンブレイが墜落死をしよう夢を見た後、大学に行くと、玉子という博士研究員が墜落死を遂げていた!不思議の国と現実が交差する本格ミステリ。

感想 「不思議の国のアリス」とミステリという、誰も考えなかったような面白い組み合わせで、読み続けながらワクワクがとまらなかった。新たな作品を開拓してみたい、という人にぜひおすすめしたい一冊。

「りぼぐら!」

西尾維新／著 講談社



①実の妹が人殺しをしたらしい。②この世で一番大切なものはお金ではないかもしれない。だけど僕にとっては違う。だからゲームにだって命をかけるのだ。③ぼく達は自由と引き換えに平和を手にした。

感想 この小説のタイトルはリボグラム(特定の語・文字を使わずに書かれた作品)という言葉からきている。恐らく皆さんが一度も経験したことのない読書となるはずです。

「神様のコドモ」

山田悠介／著 幻冬舎



神様の子は、反省しない殺人者には死ぬよりつらい苦痛を、虐待を受けた者には復讐のチャンスを与え、愛する人を失った人のもとには、幸せな奇跡を運ぶ。そしてたどり着く、衝撃の最終話!!「神様の子」がはるか上空から見た日本列島とは…。そして神様の子が起こした行動とは…。

感想 1話3分で読めるので時間がない日々の生活のスキマ時間に読むことができます。また、42話全てに笑い・恐怖・感動があり、読んでいて楽しい作品になっています。

編集委員紹介

空野アト

〔編集長〕

宇都宮商業高等学校
初参加ながら編集
長。みなさまに支え
られ、やりきることが
できました。

こぱんどー

〔書記・とりまとめ〕

宇都宮南高等学校

2回目の参加です。
今回も楽しかったで
す。

S y o r i

〔イラスト〕

宇都宮中央女子高等学校

話し合っ一つのも
のを作り上げていく
のは楽しかったで
す。

B B

〔副編集長〕

矢板東高等学校

改めて本の魅力を
実感しました。

一 織

〔書記・とりまとめ〕

宇都宮南高等学校

昨年と同様、楽しく
活動できました。

エノマ

〔イラスト〕

宇都宮海星女子学院
高等学校

チャートを考えるの
が難しかったです。

〔イラスト協力〕

- ・ゲソクムシ
- ・スノーフレーク
- ・りっか

・ペンネーム・役割〔担当〕・学校・感想

編集委員募集

あなたも本の紹介をしてみませんか？

次号Vol.10でも高校生編集委員を募集します。本好きの高校生の皆さん、
ぜひご参加ください！詳しくは中央図書館まで。

読めば
愉快だ
宇都宮

UTSUNOMIYA

宇都宮の高校生の
ための読書情報誌

MIYATEEN Vol.9

発行 平成29年12月 編集 MIYATEEN編集委員

ご意見・お問い合わせ 〒320-0845 宇都宮市明保野町7-57 宇都宮市立中央図書館 TEL028-636-0231